

(金沢地区) 地区の課題について

意見要旨	説明・回答要旨
<p>人口減少、少子高齢化については、この10年で大きく人が減り、また土地もないためこれから増えていくことは難しい状況である。いかに若者が住むような形にしていくかが課題である。</p> <p>役員の成り手不足で役員の選出が難しくなっている事については、いくつも役をやっている現状を見て、若者がこの地区は大変だなと思ってしまう。昔は60歳で定年退職だったが、いまは60歳以上になっても働かなくてはいけない中で、過去のやり方にこだわらず、団体・組織のあり方について見直す時期に来ている。また、精神的な面もあって、大変だと思ってやると本当に嫌になってしまうので、受けた以上はいかにプラスに捉えてやるかも大切だと思う。</p> <p>農業の担い手が不足してきていることについては、前は水田だったところの半数が蕎麦畑または荒地になっており、そば組合も高齢化が進んで、後継者不足となっている。</p> <p>若者の減少、消防団員の確保が難しい中での消防団再編計画推進については、区長、消防団、参与、市の消防署とも相談しながら前向きな意見交換をしてきた。令和6年4月に再編計画をスタートさせる運びとなった。その中で今後火の見櫓、屯所などはどうするのかを考える必要がある。また市からの配備車はいつからどこの屯所にどんな車が入るのか、計画的に決めていただかないと、各地区の予算も立てづらいような課題にも繋がるので、お願いしたい。</p> <p>金沢地区にコンビニ等の店舗が無くなって不便なことについては、セブンイレブン建設の予定がコロナやウクライナの影響で資材が高騰していて1年遅れているが、令和6年2月29日にオープンしたいという状況が確認できている。食糧品店が1件もないとあちこちで言われ課題になっていたが、コンビニができれば利便性も上がり、ありがたいなと思うところである。</p> <p>これらの課題ばかり話していてもいけないので、金沢の良いところについてお話すると、茅野市に2つ駅があるうちの1つが金沢にあり、諏訪南ICがあることによって高校生の送迎や、甲府・塩尻松本方面への通勤が非常に便利であること。また、甲州街道がとおり、歴史的名所が多いため外部の人から興味を持たれるところ。あとは金沢の風土として地域のまとまりがあり、金沢の中心地に歩いて通える小学校、保育園があり、温泉施設や郵便局など利便性のある土地柄なのは、金沢地区のPRできる面だと考えている。</p>	<p>【地区からの課題説明】</p>

(金沢地区) 教育について

意見要旨	説明・回答要旨
最初に教育長さんの方から先ほどの教育に関する事について、まずその点をご説明いただきたい	<p>(教育長)</p> <p>今のところ私達が考えていることが3つある。1つ目が、小さい学校を大きい学校にくっつけて良しとする考えは一切しない。茅野市の教育レベルがどれだけ発展できるか、市全体の教育システムやあり方をもう1度考え直していきたいと思っているということ。2つ目が、教育のあり方を考える時に、皆さんの考えを聞き、その中で素案を出していきたいということ。3つ目が、何よりも子ども達にとって、地域にとって何が良い形なのかをじっくり話していきたい、そう思っている。</p> <p>(市長)</p> <p>これから2年くらいかけてこの問題を皆で議論していきたいと考えている。素案がいつ出せるかはっきりとは言えないが、まちづくり懇談会が終わって色々なご意見をいただく中で素案を作成してお示しし、また保護者の皆さん、地域の皆さんのご意見をいただきたいと思っている。</p>
少子高齢化の影響でPTAも減少している。金沢小学校は伝統ある校庭リンク作りなど、PTAや地域の方々の力を借りて運営している活動がある。しかし、これらを今までどおりに続けるのは非常に困難になってきている。なかなか具体的なビジョンが見えてこない中で、苛立ちに近いものを覚えている。そういった中で地域からPTA活動をさらに支えていただきたい、力を借りたいと思うことが多々ある。それを踏まえて何かアドバイスをいただけたらと思う。	<p>(市長)</p> <p>なかなか難しい問題で苛立ちはよくわかる。子どもが少なくなるということは、PTAの役回りがどんどん早くなるということ。親の負担も非常に増えてきていると認識してはいる。</p> <p>(教育長)</p> <p>学校のあり方を考える上でも、スケートリンク作りなど金沢小学校の今までの大切な活動を中心にしていきたい。また、PTA活動については、県内でも廃止する学校も増えてきているし、東京などではPTA活動をJTBなどの旅行会社に下請けにだしているところも出てきている。本来PTAが子ども達のために保護者や先生と一緒に考え作っていく会ということの質も変わってきている。例えば学有林があってそこでキノコ狩り遠足をやってキノコ汁を食べる学校は聞いたことがない。そういった特色ある活動を守りつつ、これからの教育をどのようにしていくか、1校1校丁寧に考えていきたい。</p>
PTAでなければできないことはあると思う。言いかえればPTAでなくてもできる行事・活動はあると思う。これらを踏まえて今までPTAが行って来た活動を助けてもらえる部分はないか。子ども達が楽しく過ごせるためのPTAだと思っているので、大変だから嫌だとか押し付けられるのは困るなどといった事があってはならないが、柔軟に考えて臨機応変にPTA活動を支えていただきたいと思う。	<p>(市長)</p> <p>市でどうこうできない部分も多いが、区の行事とPTA活動は密接に関連しているところがあり、例えばどんど焼きの準備が子どもがいる家でということになっていて、子どもが2,3人いるお家は何年もやり続けることになる。そういったところは地域として見直していかなくてはならないのではと思っているところがある。</p>

(金沢地区) 行財政改革について

意見要旨	説明・回答要旨
<p>予算額基金残高推計について、毎年平均13億ほど財源不足となっているが、前に新聞で、30項目の様々なものを見直して最終的には2億の効果を見込むという記事が載っていた。13億不足の中で2億の改善をして、残りの11億はおそらくこの場では議論の対象にならないような話と推測できる。やはり、他の11億はどのように考えていて、2億については新聞記事にあったように皆さんのご協力をお願いしたいというように、全体像が見えてほしいと思う。</p>	<p>(財政課長) 今回お示ししている基金残高の見込みを推計している段階で、公共施設等の修繕がまだ具体的になっていない部分があり、その経費を歳出のところにあげていない。今後、見積作業を随時しているところではあるが、基金の残高はこの表よりもさらに早まって減っていくこととなる。そうなる前に、行政としても様々な行革をしている。収入の確保についてもふるさと納税だけでなく税金を確保するための様々な施策を打つ取組をしているところである。ただ単に厳しいということではなく、良くない状況になる前に、今から取り組んでいる事を地域の皆さまにお示しして承知をいただいた上で議論と判断をしていきたいという状況である。</p> <p>(市長) ここ数年コロナ禍で国からの交付金がかかりきていた。それを上手く活用する中で基金をあまり減らさずに済んできたというのも事実である。非常に不安定な中でやりくりしているものなので、ただ施設を全て修繕すると考えるのと、ある程度整理ができた中で考えるのとでは政策が全く変わってくる。この部分を皆さまと議論したいと考えてのことである。学校の統廃合についてはおっしゃるとおりで、まだこうと決まった話ではなく、色々な形があるという中で、例えば小中一貫校という形にしていく考えがあるのではないかと議論をさせていただいているところ。金沢だけの問題ではなく、茅野市全体として教育の質を軸に、切磋琢磨の大規模校、一人ひとりを尊重する小規模校、色んな考えがあってよい。今から皆で議論して、準備をしていきたいと思っている。</p>

(金沢地区) 企業誘致について

意見要旨	説明・回答要旨
<p>金沢地区から出されている課題は、人口が増えれば解決するものが殆どなので、金沢地区の人口を増やすために茅野市が具体的なものを示してほしい。先ほど地区からあげていただいた金沢地区の良い所で直接人口増に繋がるものは青柳駅と諏訪南ICなどであるが、実際人口増に繋がっていない。人口減が始まった時から地区が何もしてこなかったという現状でもあると思う。例えば長峰中学校が改築する時に、今の場所に建設するかわりとして金沢の子ども達の足を作るという条件を出した。しかし、これは人口増には繋がっていない。金沢の良い所を直接的に人口増に結びつけるためには、企業誘致しかないと思う。そのための受け皿として、サンコーポラスの若い世代に対するリノベーションをしたり、青柳駅周辺の開発等を提言させていただいている。金沢地区は茅野市内で陸の孤島化してしまっているが、人口が増えれば学校の問題も解決できる。企業を誘致し、そこで働く人たちが金沢地区に住みたいと思うきっかけが、今度は先ほどお話にあった金沢地区の歴史や団結力等になってくると思う。</p>	<p>(市長) サンコーポラス旭ヶ丘もずっと移住してくれる人を求め、あと2区画というところまできている。企業誘致については、色んな話がある前に真っ先に御狩野を紹介しているが、なかなか相手の意向もあって誘致まで進められなかったことが何度かあった。我々としては金沢地区に誘致したいと思ってやっているということをご理解いただきたい。</p>
<p>相手企業に断られる理由は、それを改善しなければ常に断られる確立は高くなると思う。</p>	<p>(市長) あえて申し上げますと、昨今の企業はリスク管理を重要視しており、大規模災害、地震等が発生した場合の想定をする企業が多い。そういった中で、八ヶ岳の麓の方が地盤が安定しているという話で、そちらの方に行ってしまうという形が続いている。</p>
<p>承知した。ただ、そうですか、というわけにもいかないので、何らかの形で金沢を守っていきたいと考えているので、また知恵を貸していただきたい。</p>	

(金沢地区) 企業誘致について

意見要旨	説明・回答要旨
<p>御狩野区から駅に対するアクセスが非常に不便なので、駅の利便性を上げるための陳情がいつていると思うが、見通しや展望はいかがか。</p>	<p>(市長) 現段階ではあまり楽観視できない状況である。JRの絡む仕事はJR系の企業に出さなくてはいけないことになっており、非常に高上がりになってしまふ。JRの下をくぐる、超える工事は保安全管理上特殊な工事となっているためである。</p> <p>(副市長) 若い人が来るためには働く場所が大切で、それも例えば小規模でもIT企業など選ぶ職種が変わってきている。なので、大規模な製造業の工場だと市長が言うようにリスクがあるが、先端産業が上手く誘致できれば、そういった事情でもダメージを受けないし地区のイメージが上がってくると思う。今茅野市は立川市のIT企業との連携を深めており、ベルビアのワークラボ八ヶ岳を中心にやっているが、そういった都内のIT企業との連携が金沢地区で上手くできれば、随分と地区のイメージも変わると思う。</p> <p>(市長) やはり製造業だとリスク管理が重要視されるが、IT企業だと身軽なところがある。今立川の商工会議所とやり取りをして、立川に沢山ある企業が駅前のワークラボ八ヶ岳に部屋を借りてもらっている。立川周辺には50個ほど大学があるが、なかなか立川の企業に就職してくれず、また茅野市からは立川周辺、多摩地区の大学に多くの学生が就学しているがなかなか茅野に戻ってきてくれない。そこで、例えば月に2回くらい立川の会社に行き、茅野にいながら働き続けられるようなお互いにウィンウィンの関係を作れないか、話をしていくところである。</p> <p>(企画部長) 立川にはIT企業交流会とあって大体35社のソフトウェアハウスがある。そこでも新人がなかなか雇用できないという状況である。このご時世なので、リモートワークでどこでも仕事ができる環境があるため、茅野市から多摩エリアに沢山進学している学生とコラボして、今後色々な活動に協力していく予定である。そういった関係作りの中で、新しい働き方ということで地元に戻って来ながらも働き続けられる体制を作りたいと考えている。</p> <p>(市長) 立川であれば電車で1時間40分くらいで行けるので、色々な交流を始めている。また、狛江市とはカーボンクレジットで協定を結び、府中市の学校13校と学習旅行という形で茅野市に来ていただくという交流も始めている。</p>

(金沢地区) 企業誘致について

意見要旨	説明・回答要旨
<p>そういったお話も聞けばなるほどと思うが、企業誘致が金沢地区にとって地盤の関係もあつたりでマイナス点が多いとすると、金沢地区の、企業を呼び込むメリットはどこにあるのか。諏訪南IC、青柳駅、この2つを東京とのアクセスの良さ、そして御狩野が茅野市と原村のアクセスの中心になっていけば、例えば企業が来たときに安い住宅地を用意できるだとか、何かそういう住んで良かったというメリットがあれば。茅野市の中でもJRの駅を持ち、ICを持つ利便性は金沢地区しかないと思うので、何らかの形で解決に繋がると思う。</p>	<p>(市長) おっしゃるとおりだと思う。金沢地区は富士見駅にも近いので、茅野原富士見の連携は重要なポイントだと思う。今3市町村で八ヶ岳西麓共生会議というものを設置しており、観光、環境、農業をテーマとして毎月会議をしている。その一環で行われているのが、3市町村でワインに力を入れて頑張っていこうというワインバレー構想であったり、環境面では太陽光の条例を3市町村で足並みを揃えてたりしている。このように3市町村が同じ方向を向いてまちづくりをしていくことが大事だと思う。</p>

(金沢地区) 消防団の再編について

意見要旨	説明・回答要旨
<p>金沢地区の消防団編成検討委員会が立ち上がり、8月に終了した。来年4月から再編成の消防団でスタートするが、今後の課題として火の見櫓や屯所の必要では無くなったものの撤去費用である、市から助成金が出るということだが、区長さん達からは5年も10年も助成金がおりにないようでは困るという心配の声もあるので、市で検討していただきたい。</p> <p>また、市の配備車両について、金沢地区にはいつごろ入るのか、地区の皆さんも気にされているので、その辺りを周知できる様計画をしていただきたい。</p>	<p>(消防署長)</p> <p>消防団の計画は、令和5年4月から始まっており、金沢地区の皆さま、区長会の皆さん、金沢分団の協議の中で、3分団制でスタートするとお話をいただいている。車の関係は、消防課で計画を作成中なので、もう少ししたらお示しできるかと思う。火の見櫓と屯所の撤去については、4月から要綱を盛り込み、撤去費用を補助金としてお支払いするようにしている。区長さん宛てに調査をしているので、その中で要望を出していただき、順次補助をしていきたいと考えているので、お願いしたい。</p>